

# 1 接触者健診(個別)

## (1) 実施時期別受診率

平成26年2月末現在

登録年		直後(XP)			2か月後(ツ反・QFT)			6か月後(XP)			1年後(XP)			1年6か月後(XP)			2年後(XP)		
		対象者数	受診者数	受診率	対象者数	受診者数	受診率	対象者数	受診者数	受診率	対象者数	受診者数	受診率	対象者数	受診者数	受診率	対象者数	受診者数	受診率
23年	総計	1019	963	94.5%	675	636	94.2%	427	348	81.5%	448	362	80.8%				426	317	74.4%
	(再)喀痰塗抹陽性患者の接触者	720	692	96.1%	551	523	94.9%	357	296	82.9%	374	307	82.1%				362	283	78.2%
24年	総計	1175	1122	95.5%	813	764	94.0%	444	356	80.2%	444	349	78.6%						
	(再)喀痰塗抹陽性患者の接触者	832	799	96.0%	669	635	94.9%	369	298	80.8%	369	296	80.2%						
25年	総計	1230	1183	96.2%	806	757	93.9%												
	(再)喀痰塗抹陽性患者の接触者	850	820	96.5%	628	595	94.7%												

注) 健診結果が後に判明することにより、変動の可能性あり

○平成23～25年のいずれの年も直後・2か月後健診受診率は95%前後で最も高く、6か月後・1年後の受診率は80%前後、2年後はさらに低下している。平成23～25年の直後・2か月後の受診率に大きな変化は見られない。

## (2) 結核患者発見率

平成26年2月末現在

登録年		直後(XP)		6か月後(XP)		1年後(XP)		1年6か月後(XP)		2年後(XP)	
		患者数	発見率	患者数	発見率	患者数	発見率	患者数	発見率	患者数	発見率
23年	総計	20	2.08%	2	0.57%	1	0.28%			1	0.32%
	(再)喀痰塗抹陽性患者の接触者	19	2.75%	2	0.68%	1	0.33%			1	0.35%
24年	総計	22	1.96%	3	0.84%	0	0.00%				
	(再)喀痰塗抹陽性患者の接触者	18	2.25%	3	1.01%	0	0.00%				
25年	総計	7	0.59%	0	0.0						
	(再)喀痰塗抹陽性患者の接触者	6	0.73%	0	0.0						

注1) 発見率は健診時期別受診者数を母数として算出  
注2) 健診結果が後に判明することにより、変動の可能性あり

○H23～25年のいずれの年も直後健診での患者発見率が最も高い。

## (3) LTBI治療適用者

平成26年2月末現在

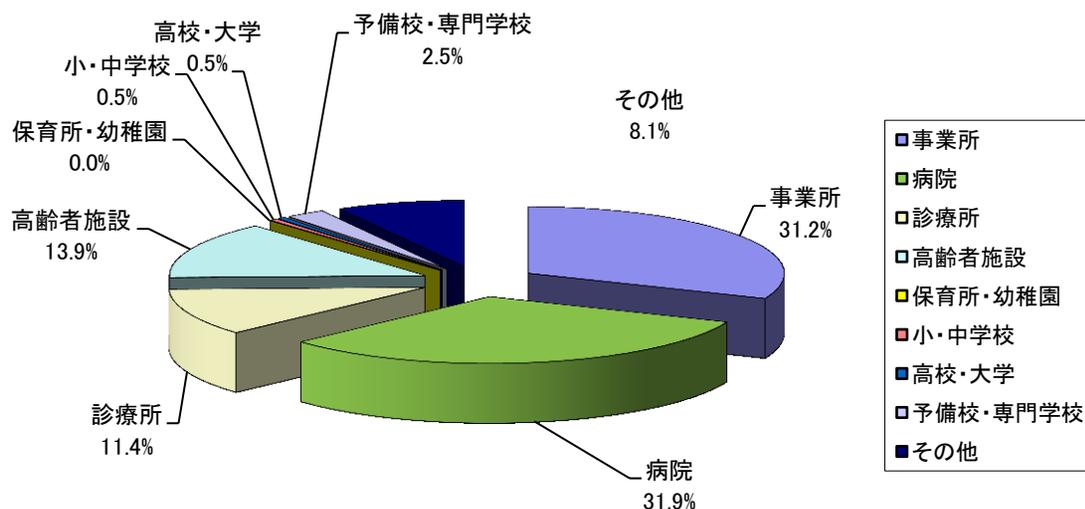
登録年		LTBI治療適用者数	LTBI治療適用率
23年	総計	111	17.5%
	(再)喀痰塗抹陽性患者の接触者	98	18.7%
24年	総計	153	20.0%
	(再)喀痰塗抹陽性患者の接触者	138	21.7%
25年	総計	114	15.1%
	(再)喀痰塗抹陽性患者の接触者	103	17.3%

注1) LTBI治療適用率はツ反・QFT受診者数を母数として算出  
注2) 平成23年4月よりQFT対象年齢を原則49歳以下から54歳以下に拡大している。

○LTBI治療適用者は喀痰塗抹陽性患者の接触者が多くを占めている。

## 2 接触者健診(集団)

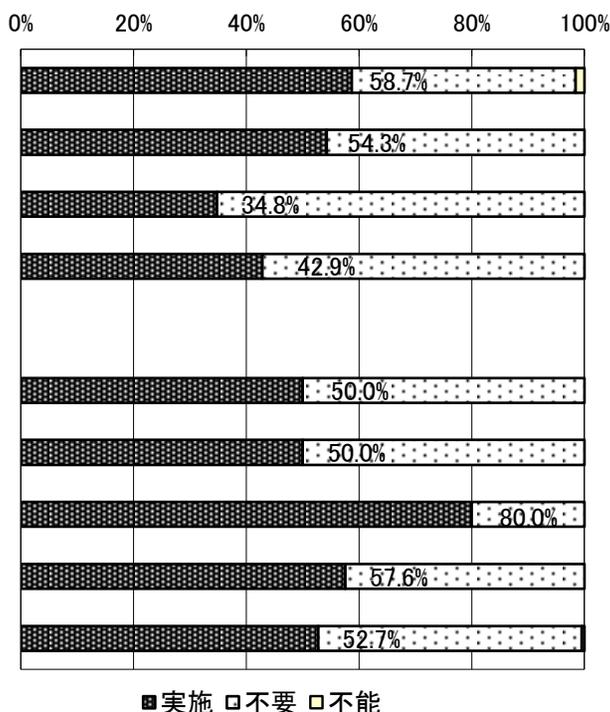
### (1) 検討対象集団の集団区分



○ 検討依頼のあった集団の内訳をみると、医療機関(病院と診療所の和)が43.3%を占め、平成24年度の50.7%より減少していた。検討依頼には小・中学校が1件、高校・大学が1件含まれていた。

集団区分別検討結果

	実施	不要	不能	計
事業所	74	50	2	126
病院	70	59	0	129
診療所	16	30	0	46
高齢者施設	24	32	0	56
保育所・幼稚園	0	0	0	0
小・中学校	1	1	0	2
高校・大学	1	1	0	2
予備校・専門学校	8	2	0	10
その他	19	14	0	33
計	213	189	2	404



○ 大阪市全体の実施率は平成24年度55.0%から25年度52.7%へと減少していた。集団区分別の平成24年度から25年度への実施率の推移をみると 事業所62.4⇒58.7%、病院59.1⇒54.3%、高齢者施設54.5%⇒42.9%と減少しており、診療所は27.7%⇒34.8%と増加していた。

(2) 実施時期別受診率

平成26年4月末現在

依頼年	直後 (X P)			2か月後 (ツ反・QFT)			6か月後			1年後			1年半後※			2年後		
	対象者数	受診者数	受診率	対象者数	受診者数	受診率	対象者数	受診者数	受診率	対象者数	受診者数	受診率	対象者数	受診者数	受診率	対象者数	受診者数	受診率
22年	617	603	97.7%	815	792	97.2%	490	467	95.3%	485	448	92.4%	43	42	97.7%	494	427	86.4%
23年	664	641	96.5%	1350	1318	97.6%	622	534	85.9%	605	536	88.6%	122	105	86.1%	576	488	84.7%
24年	620	589	95.0%	1418	1362	96.1%	290	254	87.6%	278	228	82.0%						
25年	651	613	94.2%	1418	1354	95.5%												

注) 健診実施中等不明であった結果が判明することにより変動の可能性あり

※平成24年度より、順次1年半後健診を実施。

- 平成25年は平成24年に比べ、直後・2か月後健診の受診率は低下している。  
平成23年4月から感染診断の対象年齢が54歳以下、QFT検査が3Gになり、感染診断の感度・特異度が高くなり、6か月後健診の対象者数は2か月後健診の対象者数に比べ減少していた。

(3) 結核患者発見率

平成26年4月末現在

依頼年	発見 集団	直後		6か月後		1年後		1年半後		2年後	
		患者数	発見率	患者数	発見率	患者数	発見率	患者数	発見率	患者数	発見率
22年	6	4	0.66%	0	0.00%	1	0.22%	4	9.52%	0	0.00%
23年	3	2	0.31%	1	0.19%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
24年	8	12	2.04%	1	0.39%	0	0.00%				
25年	6	6	0.98%								

注) 発病者数はRFLP/VNTR不一致、他に感染源ありと判断した数を除く  
発見率は健診時期別受診者数を母数として算出

【再掲 6か月後健診以降の患者発見率】

依頼年	発見 集団	対象者	患者数	発見率
22年	2	494	5	1.01%
23年	1	576	1	0.17%

注) 発見率は2年後まで追跡を要する対象者数 (追跡不可を含む) を母数として算出  
胸部X線検査による追跡対象者からの患者発見率を表している。

(4) LTBI治療適用者

平成26年4月末現在

依頼年	LTBI治療 適用者数	LTBI治療 適用率
22年	94	11.9%
23年	185	14.0%
24年	127	9.3%
25年	129	9.5%

注) LTBI治療適用率はツ反・QFT受診者数を母数として算出

- 平成24年以降、LTBI治療適用率は、9%台で推移している。

